

くも膜嚢胞について

くも膜嚢胞は頭部 CT や MRI 検査などで偶然見つかる場合もあります。くも膜嚢胞のサイズや部位、脳脊髄液循環との関係、脳組織への圧迫の程度などを考慮して、学童期までに手術が必要になる場合があります。手術は原則的に開頭手術によるくも膜嚢胞壁の切除や摘出により脳脊髄液循環との十分な交通をつけることが大切です。